


KSKS

ばなの木

Vol.53

あたまかな 
春の季節が
新しい年度が
女台まりました



編集人: 社会福祉法人「ばなの」

TEL072-277-2163 FAX072-277-2167

法人ホームページ

モンキーばなの (生活介護・就労継続B型)

サニー・サイト (生活介護・就労継続B型)

らふたあ (居宅介護・重度訪問介護・移動支援・介護保険)

サポートセンターはなのこみち (グループホーム・相談支援)

堺市中区深井清水町 3488-1

e-mail:tomonoie@almond.ocn.ne.jp

<http://care-net.biz/27/banana/>

e-mail:banana_net@hotmail.co.jp

e-mail:sp9m7y39@wish.ocn.ne.jp

e-mail:laughter_net@yahoo.co.jp

e-mail:bnnhana@aioros.ocn.ne.jp

思い出せば、故郷の

九州は長崎県の五島列島で生を受けました。五島列島といえはなんといいても、どこまでも青く透き通った海！

その海からとれた魚はとてもおいしく、加工してできたかまぼこや平天がまたおいしい！山の景色の美しさも最大の魅力です。

地元の風習で子どもの頃の桃の節句といえは、女の子の美しく健やかな成長を願って、母が用意してくれた、空の四段の重箱と五円玉の入った巾着を持って、遠く離れた隣家を訪ね歩き、訪ねた家で饅頭や団子などを五円で買って回るのです。そして、その饅頭などでいっぱいになった重箱を持って島の高台に行き、友達と楽しくアタックNO.1のバレーの真似をして遊んだのをよくおぼえています。

そんな私は両親から厳しく育てられました。特に母はことのほか厳しかったです。しかし母が病気になった事がきっかけで福祉の仕事に携わる事になり、それは今日まで繋がっています。そして子供(長男)は福祉用具の専門員になり、親子ともども福祉の道を歩む事になりました。

今思えば、この仕事をして本当に良かったと思います。

母がいつも言っていた言葉ですが、「人に良い事をすれば海のように良い事がよせてくるよ。」です。この言葉は仕事をする上で今も大切にしています。

そんな島から上阪して今年で三十九年です。今できる事を精一杯微力ながら努力していきたいと思っています。今後ともよろしく願います。

サポートセンターはなのこみち

志田山 記子



【ばなの発】

活動報告

- 2月2日・3日 深井中央中学校より実習生を2名受け入れ。
- 3月10日 積水ハウス 障害者グループホーム見学会(8名)
- 3月26日 理事会
- 3月26日 評議員会



研修報告

【1月】

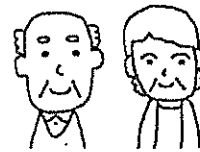
- 17日 介護ロボット・ICTなど新しい技術を経営と雇用管理改善にどのように活かすか(1名)

【2月】

- 2日 みんなが無理なく食べ続けるための支援(1名)
- 2日 介護におけるチームコミュニケーション(2名)
- 6日 アンガーマネジメント(1名)
- 17日 実践交流会(11名)

3月

- 22日 地域における授産活動について考える(3名)
- 15日 救急時の介護(2名)



みんなが無理なく食べ続けるための支援

障がいの有無を問わず、人間は加齢とともに嚥下の力は低下してしまう。モンキーばなの一人の利用者の方も、数年前までは普通食であったが、ここ1年はかなりの早さで低下をしている。食事が楽しみであった本人の心情を考えると本当につらいと思いが、日々、死と隣り合わせのリスクを抱えている。今回の研修では食事前の口周辺のマッサージが嚥下に良い効果をもたらすとの事であった。今後は本人の了解のもと実践してみようと思います。口の中という普段目に届きにくい場所であるからこそ、支援者は一層注意を払わなければならないと感じました。

公益財団法人介護労働安定センター研修 「アンガーマネジメント」

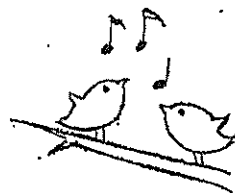
怒りという感情の理解と、怒りをコントロールする目的について学びました。支援の現場において、怒りの感情から不適切なケアや虐待につながった事例を数多く聞くため、怒りというものを否定的にとらえがちでしたが、それは正しい認識ではないようでした。もちろん怒る必要の無いことや怒っても仕方がないようなことについては、怒らずにより重要なことにエネルギーを注ぐようにした方が良いでしょうが、大事なのは怒らないことではなく、怒りを上手にコントロールすることとのことでした。青色発光ダイオードの発明でノーベル賞を受賞した中村修二教授の研究の原動力は怒りにあるようで、上手にコントロールできれば役立てることもできるのです。そのためには「衝動のコントロール」、「思考のコントロール」、「行動のコントロール」の3つの暗号が重要になるとのことでした。怒りの感情のピークは長くても6秒とのことであり、その6秒間を深呼吸などしてやり過ごすこと、異なる価値観を持った人と接するとき、その価値観を許容できるように努力すること、自分の力では変えることができないようなことは、その変えることができない現実を受け入れられるようになることが大事であるとのことでした。どれも非常に難しいことであると思いますが、訓練を続けることにより能力を向上させることは可能とのことですので、今回の研修で学んだことを活かせるよう努めたいと思います。

平成28年度実践交流会 本人の思いと家族の思いと支援 ～生活環境を考える～

利用者が他の人に対してしてしまう行為、物を壊したり日用品を無駄に捨ててしまう行動に対してどう接し、対応、改善させていけばいいかのヒントをこの研修を通して学びました。参加者のお話で、ある利用者が壁に張っている回覧物をはがしてしまおうという行為に対してある支援者が「だめなことはだめ！」とストレートに言い、力づくで止めていたという話がありアドバイザーとして参加していた元教師の方が冷静にその場面を観察し、他の支援者、管理者とどうしたらこの行為をなくせることができるかを話し合うことが大切だと仰っていた事が印象的でした。利用者の日々の行動に少し違う角度から向き合うだけで利用者の問題行為が驚くほど改善していったというお話も聞くことができ、関心することはもちろんのこと利用者の性格や行動はひとりひとり様々ですが必ず起きている事には意味があり、利用者本人が喜怒哀楽を感じている事は確かだと感じました。利用者本人も、支援者も、利用者の家族も、関わる人全てに心の負担のない日々を送っていただくことが支援者としての役割でもあり支援者は利用者に対して指導をするという上からの立場で接するのではなく当たり前ですが人間同士なのだということを忘れず相手が不快に思わないように支援する事が大切だと感じました。

みんなの輪

新利用者紹介



もりうち
森内

誕生日

好きな音楽

スポーツ

楽しかったこと・思い出

苦手なこと

ご家族からの一言

あやか

彩加さん (サニー・サイト)

8月3日

E-Girls, 西野カナの曲

スイミング

高校の修学旅行 (ハウステンボス)、
南中ソーラン部の大阪城ホールでの発表

言葉でのコミュニケーション、
気持ちの切り替え

彩加、お仕事頑張ってね。

サニー・サイトの皆さん、

どうぞよろしくお願ひします。

たなはら
田名原

誕生日

好きな音楽

スポーツ

好きな芸能人など

趣味

やりたいこと・夢

苦手なこと

ご家族からの一言

すぐる

優さん (サニー・サイト)

9月28日

X JAPAN

サッカー、水泳、陸上

ドリフターズ、IKOO、ミスタービーン
地車

学校警備員

激しいアトラクション

楽しくやりがいのある日々を

過ごして下さい。



モンキーばなな

グーグルストリートビュー(屋内版)にモンキーばななが掲載されました。インターネット検索サイトグーグルのグーグルマップストリートビューでモンキーばななの店内(商品売り場)を見る事ができるようになりました。お店の商品もしっかりと写っています!ネット環境のある方はぜひ一度、ご覧になってください!(スマホでもOKです。)



◀ 授産活動支援センターから、お仕事の紹介がありました。▶

堺市の健康福祉プラザ内にある授産活動支援センターをご存じでしょうか?堺市内の障害者が取り組む授産活動を企業への営業活動や一般市民への広報活動、障害者の工賃(給料)額の向上を推し進める事を主な活動としています。また企業等からお仕事の依頼や販売先の紹介があった時は、授産活動を実施している事業所とのマッチングを支援しています。

3月上旬、モンキーばななにもセンターからお仕事の紹介がありました。新しい作業に取り組んだ方々は、みんなノリノリで楽しく取り組む事ができました。利用者の中には「次の仕事はいつ来るのか?」と毎日!尋ねてくる方もいらっしゃいました。(笑)

今年のお花見はみんなで大仙公園へ出かけました。今年例年より開花が少し遅れ気味でしたが、種類によっては満開している桜もありました。平日でしたが、花見客もたくさんいて、ギターで熱唱している人もいました。天候も最高で最後は大きなしだれ桜の前で集合写真を撮りました。



サニー・サイト

春の絵てがみ届きました！



「こんにちは **サニー・サイト** です」の発行が **4月**で

100号になりました！

「障がいのある人のこと！考えていること！を知ってほしい」
「サニー・サイトがどんなことをしているかを報告しながら、ご意見、ご指導を承り、地域のみなさまと共に暮らしていきたい」というおもいでスタートし、8年4ヶ月つづけてまいりました。この間
いろんな方から声かけしていただきました。クッキーのご注文をはじめ、アルミ缶をお持ちくださる方も増えました。絵てがみグループの方との交流もできました。ふれあいサロン、敬老のつどいや地域の行事にも関わらせていただきました。いろんなエピソードがありますが「読んだよ！」とご連絡くださることが私たちにとって何よりうれしいことです。
(100号新聞の一部です)

先代管理者が地域へまいたつながりの種

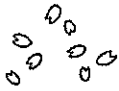
管理者交代の春がきました。今まで築きあげてくださった信頼の基礎固めは、とても強いものに今に至っていると、サニー・サイト開所11年間の積み上げを引き継ぎました。これからは、今までの事に恥じないように、ますます信頼されるサニー・サイトに発展できるように努めてまいります。

まいていただいた種は、根を強くはり、多くの芽を出し、大きな幹になり、どっしりとたくましく、やさしいサニー・サイトになっています。

これからも、みなさまにあたたかく見もっていただけるように がんばりますので、どうぞ よろしくお願い致します。 管理者 松本 三貴 ♡



らふたあ



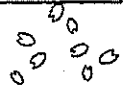
平成29年度の始まり



平成29年4月より、管理者、サービス提供責任者が変わり、新体制でスタートをきりました。これからも、利用者、家族のニーズに寄り添いながら、少しでも多くの方のお役に立てるように努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

らふたあ職員一同

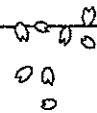
平成28年最後のヘルパー会議より



3月のヘルパー会議で、参加者と一緒に28年度の振り返りを行いました。支援を行っている利用者の心身面の変化。それに伴う支援内容の変化。ヘルパー自身の心境の変化。いろいろな障がい種別の方に関わることでスキルアップが出来たなど、たくさんの意見が出ました。その中で、移動支援などを行っている時にヘルパー自身が体力の低下を感じているようで、「利用者も高齢化してきているけど、それと同時にヘルパーも高齢化してきている」という話になりました。長年、この障がい福祉の仕事をしているヘルパーも数名在籍しており、「昔のように走ってついて行かれへん」と言っていました。この方たちは、らふたあが創設した時からずっと支えて来てくれたヘルパーたちです。加齢に伴い、支援の内容が変わっていく利用者に安心して支援を受けてもらえる事業所づくりとともに、ヘルパーが働きやすい事業所づくりも進めていきたいと思っています。



支援の現場から



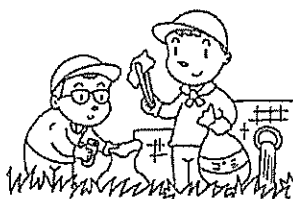
【待ちに待った春が花粉と共にやって来た！！】

たくさんの楽しいイベントがある春は、各日中系事業所のイベントや移動支援を利用してお花見に行ったり、4月末から5月にかけてのゴールデンウィークにいろいろな場所に出かけたりと、多くの利用者が楽しみにしていると思います。ただ、この楽しい春と共にやってくるのが、強敵花粉です。楽しいお花見や外出も花粉症の方は目のかゆみ、鼻水、くしゃみで楽しさ半減といったところでしょうか？また、以前は全く症状が無かった方も急激に発症するようで、私もつい最近発症し、鼻水が止まりません。普段の何気ない支援の中で、アレルギーに限らず、周りの環境が与える利用者への影響を把握しておくことが大切です。移動支援では普段の行動範囲以外のところへ行く事や、利用者と一対一で支援を行う為、特に必要と思われれます。外出の時間を楽しく過ごしてもらう為に、ちょっとした心がけを続けていきたいと思っています。

サポートセンター はなのこみち

地域の一員として

2月12日(日)に地域の町民会館の掃除に、職員2名、利用者2名で参加させて頂きました。微力ではありますが、地域のさまざまな活動に参加することによって、少しでも地域の活性化のお役に立てたらと思います。そしてこれからも地域の方と交流する機会を大切に、地域の一員であるという認識を持って頂けるように努めたいと思います。また災害時には地域住民のつながりが、人の命を守ることに繋がります。地域の共助に役立つように、今後も地域の一員として、できることに積極的に取り組んでいきたいと思っています。



グループホームの課題

職員2名が「緊急時の介護」についての研修に参加しました。2025年をピークに高齢化がさらに進むこと、また医療機関の機能分化(療養型病床の縮小等)が進むことなどから、今後医療ニーズの高い利用者がますます増加することは必然のようです。現在の制度のもと、グループホームにおいて24時間の医療体制を確保することは現実的に困難なことから、緊急時には支援員が適切な対応をとることが求められます。難しい課題ですが、利用者の命を預かる職種であることを自覚し、利用者が安心して生活できるように研鑽を積む必要があると思いました。

早いもので

2014年5月1日の開所から3周年を迎えることができました。これもひとえに支えてくださった皆様のお陰であると深く感謝しています。皆様のご期待に添えられるよう、今後とも地域にとって必要な社会資源となることを目指して努力していきますので、引き続きご支援ご協力をお願い致します。



地域のみなさんとともに

温かさにふれながら

はなのこみちの記事でもありますように、早いものでサポートセンターはなのこみちが開所して3年がたとうとしています。この3年間、自治会の皆様をはじめ、たくさんの地域の方々の優しさ、温かさに助けられ、ここまでやってくることが出来ました。この先も10年、20年と地域の一員として根付いていけるように努めてまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。

バレンタインクッキー販売にご協力いただき、ありがとうございました

今年も皆様のご支援ご協力のおかげで、無事にバレンタインクッキー販売を終えることが出来ました。注文していただきました皆様、本当にありがとうございました。
【サニー・サイト、モンキーばなな一同】

《売り上げ報告》

300円セット・・・208個

500円セット・・・325個

売り上げ金額 224900円

※これからの季節、母の日や父の日などのプレゼント用個別注文も承っています。日頃の感謝と共におひとついかがでしょうか？詳しくは各事業所までお願いします。

編集後記

暖かくなってくると、公園でお花見やバーベキューなどに最適な季節となり、ゴールデンウィークなどの連休を利用して出かけたくくなりますね。読者の皆様は、どこかにお出かけをする予定はありますか？春と言えば、出会いと別れの季節です。当法人でも、職員の定年退職、新しい職員が入社、人事異動と、新年度を新たな体制で迎える事となり、このばななの木の編集委員の構成も少しずつ人員が変わっていています。色々なことが日々変わっていく中ですが、今後も変わらず、皆様に法人の活動をお届けできればと思っております。

編集委員一同

発行人 関西障害者定期刊行物協会 〒544310015 大阪市天王寺区真田山2-2 東興ビル4F
二〇〇〇年十二月十二日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

定価 100円